

学校名	小平市立第十五小学校	実施年月日	平成17年 3月 8日
指導者	加藤 大次郎	授業コード	I-13
学年	5年	教科	国語
単元名	大造じいさんとガン		
単元の目標	1. 作品中の情景描写、心情表現など、作品を支えている表現のよさを味わいながら読むことができる。 2. 友達と感じたことや考えたことの交流を重ねながら、自分の思いを広げたり深めたりしていくことができる。		
単元の指導計画	第1時 大造じいさんとガンの範読を聞き、気づきを書くことができる 1時間 第2時 大造じいさんとガンの気づきを発表しあいながら、作品を読み深めることができる。 2時間 (本時 1/2)		
本時のねらい	文章中からじいさんと残雪の性格を考え、2者の関係を読み取る。		

本時の学習活動の展開

導入	○ガンの生態について確認しよう。
展開	<p><学習課題> 文章中の様々な描写表現を味わいながら読みとり、じいさんと残雪の性格を考え、2者の関係を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中の表現から、両者の性格を考え、ワークシートに記入。 ・じいさん対残雪の情景を想像し、その時のじいさんの気持ちを読み取って、ワークシートに記入 <p>デジタルコンテンツを利用して、飛んでいるハヤブサとガンの動画を見たり、ガンの鳴き声を聞いたりして情景の理解させる。</p>
まとめ	<p>じいさんと残雪の性格について話し合う。</p> <p>残雪に敗れたときのじいさんの気持ちを発表しあうことにより、2者の関係を理解すると同時に優れた情景や心情の描写を味わう。</p>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>子どもたちにとって今身近ではない、ガンの生態をデジタルコンテンツにより視覚的にとらえることで、「大造じいさんとガン」という物語に興味・関心をもたせる。</p> <p>予め家族想い、仲間想い、渡り鳥であるというようなガンの特徴をとらえることで、残雪の行動の理解させる。</p>

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。